

エントリーシート 一次選考(書類審査)

※行の挿入や書式・フォント・線種等は変更しないでください。

事務局記入項目 【管理NO: 】

※施設部門・在宅部門の割り振りは、当会にて行いますのでご了承下さい。介護保険法、障害者総合支援法、児童福祉法上の区分けとは異なります。

【部門: 施設系 ・ 在宅系 】

◆基本情報

会社名	社会福祉法人 恩賜財団済生会 支部山形県済生会
【事業名】	特別養護老人ホーム ながまち荘
【事業所住所】	山形県山形市長町751
【管理者名】	峯田 幸悦
【サービス分類】	介護老人福祉施設
【開設日時】	平成2年7月1日
【利用定員】	80名
【併設事業】	通所介護、短期入所、居宅支援、訪問介護、地域包括

【稼働率・入居率】	100%
【常勤・非常勤数】	常勤41名 非常勤16名
何を取り組んで稼働率・入居率が上がったのか?	自立支援介護や生活の質の向上を目指し、水分・食事・排洩・運動の身体ケアを基本とした「元氣になっていた介護」を提供しています。そのために職員一人一人が質の高いサービスを提供できるように、研修会などに積極的に参加し、専門資格取得を目指しています。その取り組みを推進していくことで、誤嚥性肺炎による入院・死亡者の減少や、認知症状の改善がみられています。

※追記事項はガイドブック等には反映いたしません

目指す事業所像 (400字まで)	文字数
398	
(どのような事業所を将来目指すのか、ビジョン・理念を踏まえて記載ください。)	
<p>ながまち荘は、親切・笑顔・迅速をモットーに「自立支援介護」「人間尊重」「人材育成」「地域福祉拠点」を基本理念として、全職員が融和協調の姿勢で、日々のケアに取り組んでいます。介護老人福祉施設においては、「自立支援介護」に特に力を入れた取り組みを行い、平成26年には日中の「おむつゼロ」(おむつに排便をしない。排便是トイレまたはポータブルトイレで行う。)を達成しました。昨年、エビデンスに基づいた科学的アプローチが求められる中、この取り組み成果は、職員の専門性の向上、モチベーションの向上と共に高い定着率の維持にもつながっています。また園芸療法・臨床美術・学習療法・回想法など認知症の予防・改善のための非薬物療法に積極的に取り組み、効果も上げてきた経緯があります。これらの取り組みを継続しながら、今後は認知症予防・改善の観点からも地域との関わりを重視し、施設をあげての地域貢献活動を行っていき考えです。</p>	

文字数各200文字までです。エクセルで文字をいれると右側に自動的に文字数ができます

1.独自コンセプト	事業所で取り組んでいるこだわりの独自コンセプトを、実際の数字や実績など具体的な成果を踏まえて記載してください。	文字数
	<p>①褥瘡・身体拘束・オムツ・胃瘻・身体拘束・下剤・タバコ、入居者様の自立を脅かす七つの課題全てにゼロを掲げる「007～ゼロゼロセブン～の誓い」を胸に、自立支援介護に尽力しており、当事業所のコンセプトとなっている。</p> <p>②地域貢献事業にも積極的に取り組み、買い物支援や認知症サポーター養成講座からスキルアップ研修会の開催、当事業所主催の自立支援介護研究会を発足し、他事業所参加型研究会の開催まで多岐に渡る。</p>	199
2.職員 (教育・育成) (採用・離職防止)	職員とのかかり合いとして事業所で取り組んだ内容 (人材育成・チームワーク・採用・離職防止・モチベーション向上などを、実際の数字や実績など具体的な成果を踏まえて記載してください。)	文字数
	<p>①外国人介護福祉士候補生への支援・・・27年12月よりインドネシアから来日した二名の候補生に対して、独自に作成した研修計画に基づいた支援を行い、介護福祉士を取得するため事業所を挙げて取り組んでいる。特に、候補生受け入れから試験合格までの研修計画には力を入れており、同外国人講師による訓練やメンタルケア、「外国人介護職交流会」の開催・参加も行うなど、地域との交流や関わりも積極的に取り入れている。</p>	197
3.利用者 自立支援	利用者とかかり合いとして事業所で取り組んだ内容 (ケア手法・個別ケア・ケアマネジメント、リハビリ、独自のケア理論などを、実際の数字や実績など具体的な成果を踏まえて記載してください。)	文字数
	<p>①歩行訓練・・・リハビリ担当職員、医師や看護師との連携のもと、車いす使用の利用者を対象に歩行器を使用した歩行訓練を行っている。成果として、活動量の増加によって心身の機能改善が図れ、活動範囲の拡大に大きくつながっている。②余暇活動・・・①や前述の取り組みの次段階として、個々の嗜好や希望に合わせた活動を企画。QOL向上の妨げとなるおむつ使用や低体力を改善することで、尊厳ある暮らしを取り戻すことが可能になる。</p>	199
4.家族	家族とかかり合いとして事業所で取り組んだ内容を、実際の数字や実績など具体的な成果を踏まえて記載してください。	文字数
	<p>①入居者様の権利擁護、信頼関係と絆を深める目的の家族会では、総会を始め、懇談会を年6回開催している。単に職員を含めた意見交換や情報共有の場であるだけに留まらず、行事へは企画・準備段階から参加、清掃等の各種ボランティア活動、医師や住職などさまざまな分野の外部講師を招いての研修会の企画・運営など、その活動は多岐に渡っており、利用者・家族・職員相互に共通の認識のもと、安心・安全な施設生活を目指している。</p>	200
5.地域	地域とかかり合いとして事業所で取り組んだ内容 (社会、行政、医療連携など)を、実際の数字や実績など具体的な成果を踏まえて記載してください。	文字数
	<p>【地域活動】・・・介護予防活動への職員の派遣や、地域高齢者を対象とした「買い物支援」。小・中学生や一般企業、地域住民へ向けた認知症サポーター養成講座からスキルアップ研修、更に、活躍の場を求め受講生に対し、有償ボランティアという形で介護補助の場を提供している。また、地域住民の自主防災協力員と連携し、夜間避難訓練や風水害訓練も実施するなど、地域との繋がりは深く、今後も地域福祉の拠点として貢献していく。</p>	199
6.コンプライアンス (法令遵守) リスク管理	事業所が守るべきコンプライアンス (法令遵守) や事前のリスク管理など事業所で取り組んだ内容を、実際の数字や実績など具体的な成果を踏まえて記載してください。	文字数
	<p>介護人材不足が深刻である中、法令で定められた人員基準の維持やサービスの質確保に向け、当施設は海外の優秀な人材に着目している。それがEPAIに基づいたインドネシア人介護福祉士候補生受け入れである。彼らは母国と日本を合わせ1年間の日本語勉強を積んでから介護施設での就労に入る。彼らの受け入れについては安価な労働者という位置づけではなく、確かな専門職養成という介護人材充足に向けて日本の財産になると考えている。</p>	200

文字数各600文字(合計1200文字、タイトル込)までです。エクセルで文字をいれると右側に自動的に文字数ができます。

7.今年のテーマ 【生きる】	<p>【7-1】特に発表したい、共有したい、事業所独自の【生きる】内容を、取り組んだ成果を踏まえて具体的に記載してください。</p> <p>【タイトル:インドネシアからの介護福祉士候補生アグスさん・アンガさんの気づきや関わりが、職員・事業所に生きる。】</p> <p>●外国人介護福祉士候補生の二人は、日本で学び得た介護の知識を将来的には本国インドネシアへ持ち帰り、ながまち荘のような施設を母国に作りたい。また、自分がその施設長となり地域・国の高齢者を支えたい、インドネシアと日本の介護を繋ぐ架け橋として活躍したいという夢を持っています。その為に日々勉強、介護福祉士試験を第一目標とし、合格した後もながまち荘にて経験を積んでいきたいと考えています。私達ながまち荘職員は、そんな二人の挑戦・夢が実現できるように学習面・生活面を総合的にサポートしています。来日から1年半以上が経過し、現在では彼らの気づきや関わりから私達職員が学び、改善や更なる飛躍へと活かされることが多い。研修や研究を重ね、日々入居者様と接し理解しているはずの職員も、入居者様の思わぬ行動・心理症状に驚かされ、誰もが顔を背けたくなるような場面において、彼らは決して表情に出さず、その方の気持ちに寄り添う対応ができる。そんな姿に、「彼らを手本とするべき」との声が職員より多く聞かれ、彼らを求めて歩行する方や、恋愛感情を抱く入居者様もいるほどである。二人の存在は、まさに職員・事業所・入居者様に活きている。</p>	文字数	600
7-2	<p>【7-2】特に発表したい、共有したい、事業所独自の【生きる】内容を、取り組んだ成果を踏まえて具体的に記載してください。</p> <p>【タイトル:「ながまち荘007～ゼロゼロセブン～の誓い」について】</p> <p>【施設理念に基づき、下記の七つの項目の「ゼロ」を目指しているという、具体的な行動目標である。】</p> <p>●①おむつゼロ・・・身体的・精神的にも自立の妨げとなるおむつの使用をやめ、水分・食事・排便・運動の4つのケアを複合的に行うことでトイレ(ポータブルトイレ)での排泄が可能となるケースが多くなってきている。②褥瘡ゼロ・・・おむつではなくトイレへの排泄が可能になる事で、褥瘡が完治、または改善するケースがあった。③骨折ゼロ・・・①同様4つのケアを行うことで、転倒事故等による骨折が減少している(H26年度は1件)。④下剤ゼロ・・・下剤を使用することがおむつ使用の大きな一因となってしまう。①同様4つのケアを行うことで、下剤にたよらない排便(=トイレでの排泄)が行えるようになったケースもあるが、現在の下剤使用率は50%超と、今後最も力を入れていかなければならないケアの一つである。⑤胃ろうゼロ・・・嚥下機能の検査・モニタリングを行い、できるだけ栄養価の高い食形態で、口からおいしく食べることが目指している。成果については前述の通り。⑥身体拘束ゼロ・・・現在、該当の利用者はおらず、ゼロ達成を継続している。⑦たばこゼロ・・・受動喫煙防止のため、敷地内全面禁煙となっている。現在、利用者における喫煙者数はゼロである。</p>	文字数	591

▼事業所を紹介する写真(3枚)を自由に添付してください！



※枠内に写真を貼り付けてください。

春夏秋冬を感じられる活動は、定番メニューとして毎年毎シーズン皆様へ提供し、写真のようなあたたかい事業所です。

▼この1年間で一番印象に残っている写真を添付してください！



※枠内に写真を貼り付けてください。

山形県済生会学会にて自立支援介護研究発表が最優秀賞受賞！多職種連携のもと、日々積極的に自立支援に取り組む、入居者様の笑顔・変化が私達職員のパワーの源です！



※枠内に写真を貼り付けてください。

家族会や地域の自主防災協力員と連携し、夜間避難訓練を行っています。地域に根ざした施設として、いかなる災害にも万全を期すよう尽力しています。

▼事業所の【生きる】に関する写真を添付してください！



※枠内に写真を貼り付けてください。

インドネシア人介護福祉士候補生二人の気づきと、関わりが入居者様の笑顔、日々積極的に自立支援に取り組む、私達職員が学ぶが深まる毎日です。(写真:アグス・トゥリヤントさん)



※枠内に写真を貼り付けてください。

「その人らしさ」や「尊厳ある生活」の実現を目指して「水分」「食事」「排便」「運動」、以上4つのケアを基本とした、自立支援介護に施設をあげて取り組んでいます。

▼事業所で活躍するスタッフ1名を写真を紹介してください！



※枠内に写真を貼り付けてください。

アンガ・ルスマヘンドラさん 故郷インドネシアと日本の介護を繋ぐ架け橋になりたいです。資格取得に向けて毎日が勉強です！